

シルクロードの起点・西安から悠久の旅へ

かつての長安、唐の都・西安と、砂漠のオアシスとして知られる敦煌。シルクロードを代表する2つの都市を、2連泊と3連泊でじっくり結ぶ旅。とくに敦煌では、3連泊することで、通常は非公開の窟や郊外にも足を伸ばし、じっくりと悠久の歴史にふれることができます。

敦煌と西安にじっくり滞在

観光

砂漠の大画廊シルクロード

過ごしやすい秋の出発、通常非公開の窟も特別に見学します。

かつて、仏教の経典を求めて天竺への旅に出た三蔵法師。生涯をかけたその長い旅路は、シルクロードの起点・西安から始まったと伝わります。それから、千数百年——。冬季には、-15度、夏季には40度を超える乾いた大地は、容易には人を寄せつけぬ厳しい表情を見せます。地中深くには、今にも動きだすかのようにしてしっかりと陣を守る兵馬俑、仏教美術史を今に物語る無数の石窟、圧倒的な遺跡を今日にのこしました。3連泊してもなお、「もっとじっくり見たかった」というご参加のお客様のお声に、時を超えた普遍の価値を感じずにはられません。シルクロードの始まりの地・西安から、砂漠に現れるオアシス・敦煌へ。じっくりとその遺産の数々を心に焼き付けながら、悠久の歴史を旅します。季節は秋。一年でもっともお過ごしいただきやすい、気候穏やかな頃にご案内します。

贅を極めた地下皇宮、秦の始皇陵と兵馬俑坑

中国で初めての統一王朝を築きあげた、秦の始皇帝。13歳という幼さで皇帝即位後、わずか10数年でつぎつぎと周囲の国々を制圧していったといえます。即位後から墓穴を掘りはじめ、天下統一後には、50万とも100万ともいわれる労力を動員し造営された始皇陵。そのすぐそばには、兵士や馬を模した焼き物の人形が、陵墓を守る陪葬物として造られました。人間と等身大、表情もそれぞれに異なる無数の兵馬は、現在も発掘が続けられ、出土品はそのままの姿で博物館に並べられ、ご覧いただくことが可能となりました。

宗教芸術の時代絵巻、莫高窟

時をさかのぼること千数百年。5世紀から15世紀までのおよそ1000年間にわたって、無数に創られた石窟群、莫高窟。現在確認されているものだけで500近いとも言われ、仏教の力を強く受けてきた地であることがうかがえます。時代ごとに異なる窟の構造、彫刻様式、壁画画題は、中国仏教美術の変遷をあらわし、さながら立体の美術史。ゆったり3連泊することで、一般に開放されている石窟のほか、通常非公開の石窟も特別にご見学いただけることとなりました。

期日：2010年 7日間

No. 8091

9月17日(金)～9月23日(木・祝)

旅行代金：2名一室利用 270,000円
(一人部屋追加料金：49,000円)

*旅行代金の他に関西空港使用料及び燃油サーチャージ(目安2000円：12/1現在)、現地空港諸税が別途必要です。

添乗員同行・最少催行人員8人

旅程 ▶：飛行機 =：専用車

① 関西国際空港(午前発予定)▶乗継▶西安

かつて長安と呼ばれた古都・西安へ。2連泊です。
【西安泊】×機夕

② 西安見学【兵馬俑坑・秦始皇陵・西安城壁・青龍寺】

井戸を掘っていた農民によって偶然発券された世界的に名高い兵馬俑坑へ。主な見所をじっくりと見学。西安城壁のウォーキングでは、都であった遥か古の時代に思いを馳せ、ゆったりと歩きます。空海が学んだ青龍寺へも。

【西安泊】朝屋夕

③ 西安見学【歴史博物館】▶敦煌

宮殿様式の外観をもつ、逸品ぞろいの歴史博物館を見学。午後、西安から空路、敦煌へ。敦煌にはゆったり3連泊です。

【敦煌泊】朝屋夕

④ 敦煌見学【莫高窟・鳴砂山・月牙泉】

世界有数の仏教芸術の宝庫・莫高窟。一般的に開放されている窟に加えて、特別窟4窟もじっくり見学。夕刻、鳴砂山と三日月形の湖・月牙泉を、途中、ラクダに乗って訪れます。

【敦煌泊】朝屋夕

⑤ 敦煌見学【雅丹魔鬼城・漢代長城・玉門関】

広大な砂漠に土丘群広がる雅丹魔鬼城や、乾いた大地に突如現れる異形・玉門関など、厳しい自然が創り上げた造形を見学。悠久の歴史を伝える漢代長城へも。

【敦煌泊】朝屋夕

⑥ 敦煌▶乗継▶北京

敦煌市内を見学後、空路北京へ。

【北京泊】朝機

⑦ 北京▶関西国際空港(午後着予定)

朝機×

〈利用予定航空会社〉

中国国際航空、又は中国系航空会社

〈利用予定ホテル〉

①②西安：君楽城堡大酒店、又は同等クラス

③④⑤敦煌：太陽大酒店、又は同等クラス

⑥北京：国際飯店、又は同等クラス